



平成 20 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 ユナイテッド・テクノロジー・ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 若山 陽一
 コード番号 2146
 問 合 せ 先 執行役員総務法務部長 山川 昌則
 電 話 番 号 03(5447)1710

業績予想との差異に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 23 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との間に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値との差異 （平成20年4月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円、％）

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 四 半 期 純 利 益 |
|-----------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 21,000 | 2,000 | 2,000 | 840 |
| 今 回 実 績 (B) | 25,342 | 2,180 | 1,466 | 4,747 |
| 増 減 額 (B - A) | 4,342 | 180 | 533 | 5,587 |
| 増 減 率 | 20.7% | 9.0% | 26.7% | - |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期) | 27,142 | 2,791 | 2,721 | 982 |

2. 業績予想との差異理由

当第 2 四半期累計期間の売上高につきましては、アウトソーシング事業が堅調に推移したことに加え、製造装置事業において、移設ビジネスが、国内半導体工場の再編により、新規案件が増加し、かつ中国向けの移設案件についても当初計画を上回るペースで作業が進んだ結果、計画値を 4,342 百万円上回る 25,342 百万円となり、営業利益につきましても、2,180 百万円と計画値を上回りました。

経常利益につきましては、ファイナンシャルアレンジメントフィー等グッドウィル・グループ株式会社（現ラディアホールディングス株式会社）の株式取得に関する費用と韓国現地法人での為替差損の発生などにより計画を 533 百万円下回る 1,466 百万円となりました。

また、四半期純利益につきましては、平成 20 年 10 月 3 日に公表しました投資有価証券評価損 6,643 百万円を第 2 四半期末の特別損失として計上することを主因とし、また投資有価証券売却益や税効果会計を加味して 4,747 百万円の四半期純損失の計上となりました。

3. 今後の見通し

通期の業績予想につきましては、本日発表いたしました「投資有価証券の処分信託設定に関するお知らせ」のとおり、処分信託設定による業績への影響が未確定であることから平成 21 年 3 月期の通期連結業績予想は据え置きいたします。確定しだいすみやかに公表いたします。

以 上

(注)当資料に記載する業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき、独自の判断により作成しておりますが、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があり、実現を保証するものではありません。